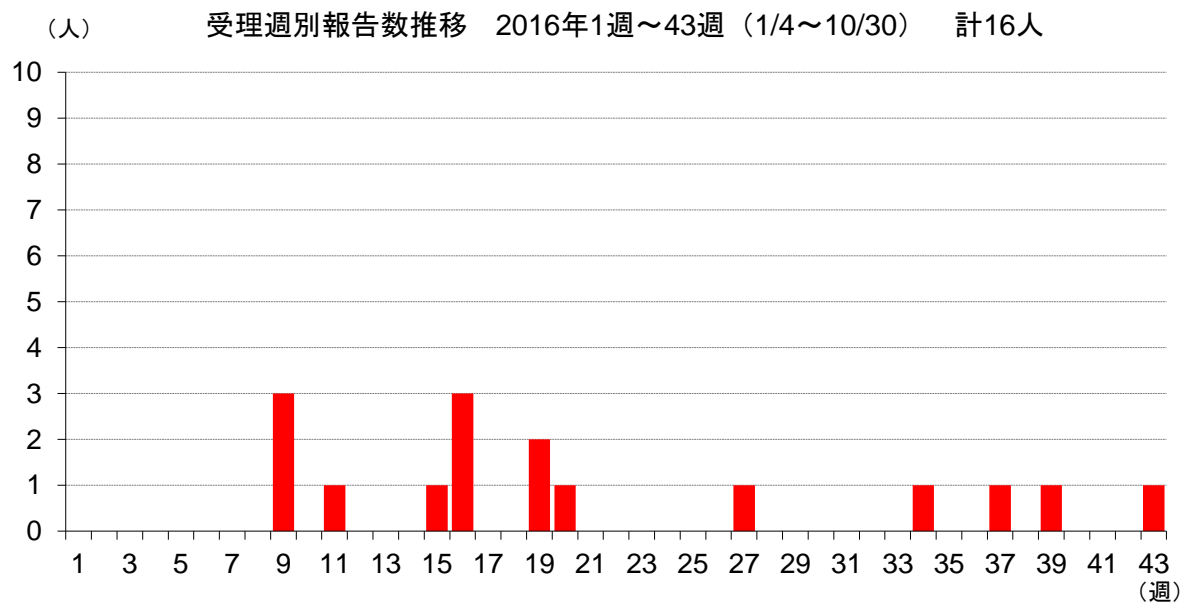


都内における風しんの発生状況（2016年第1週から43週）

東京都健康安全研究センター

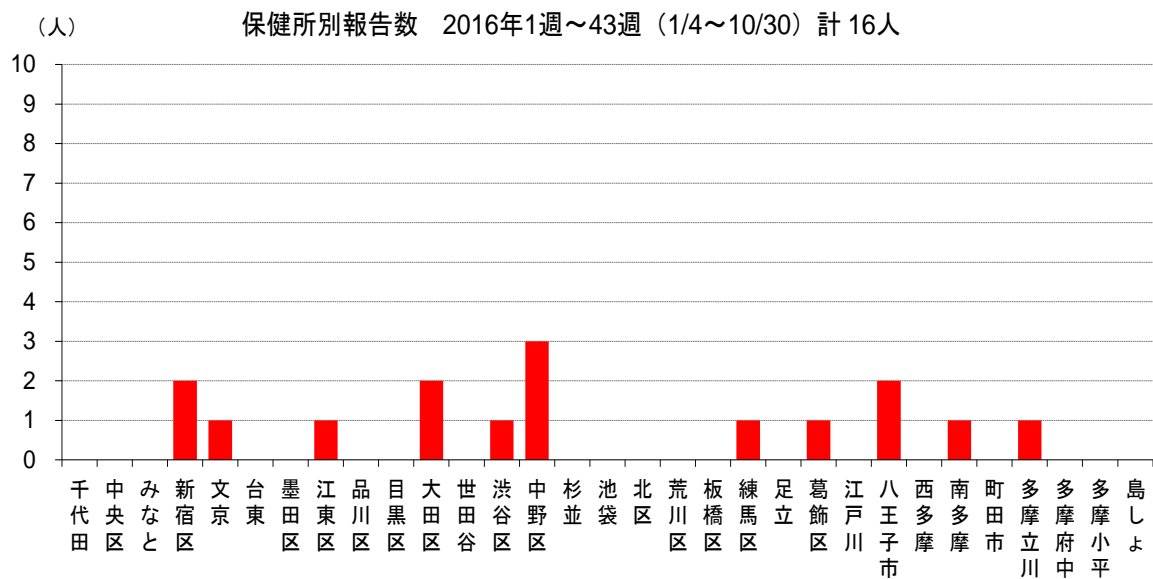
1. 患者報告数の推移

2016年の年間累計報告数は16人であった。特にピークはなく、0～3人の報告が散発的に続いている。



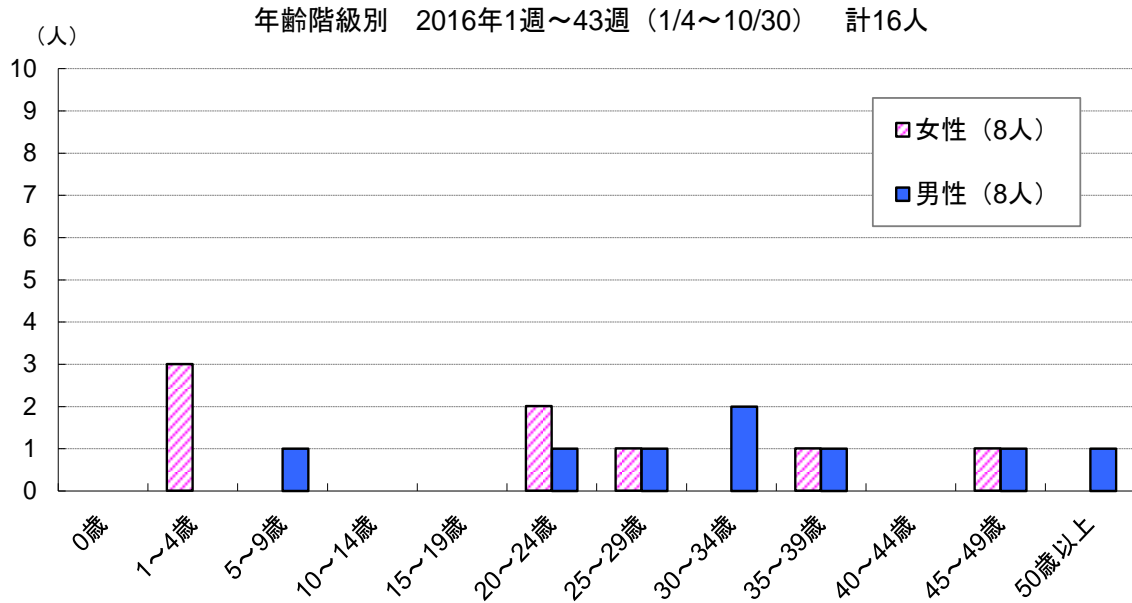
2. 保健所別報告数

31保健所中 11保健所から1人から3人の報告があった。



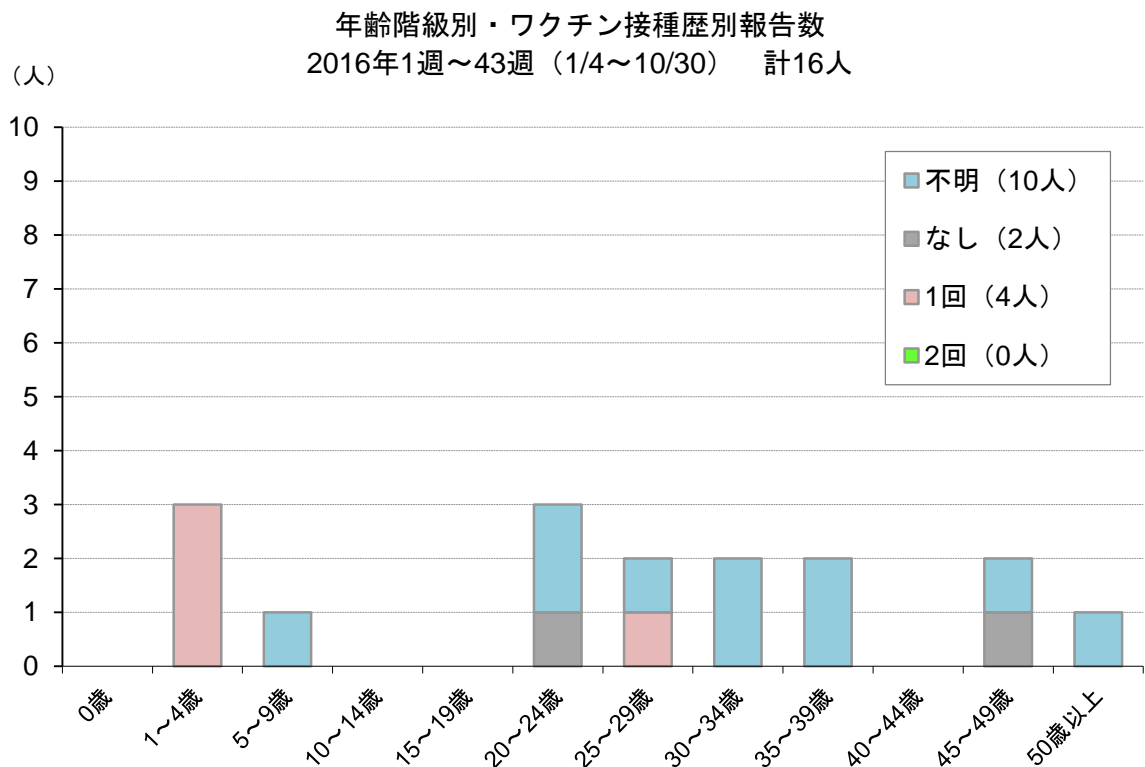
3. 年齢階級別・性別報告数

性別は男性 8 人、女性 8 人と男女の差はなかった。年齢階級別・性別で見ると、報告数が多いのは 1～4 歳の女性（3 人）、20～24 歳の女性、30～34 歳の男性（各 2 人）であった。



4. 年齢階級別・ワクチン接種歴別報告数

報告された風しん患者をワクチン接種歴別で見ると、1 回接種が 4 人、接種なしが 2 人、不明が 10 人であり、接種なしと不明を合わせた割合は 75%であった。20 歳以上では接種不明が多かった。

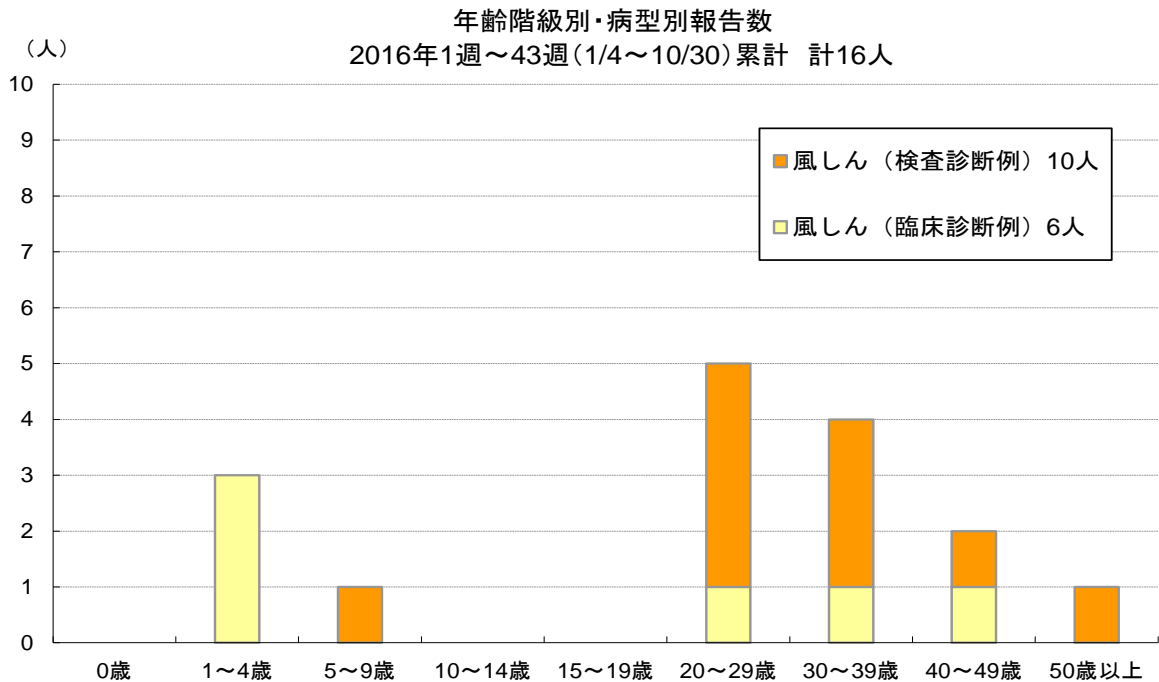


5. 推定感染地域

推定感染地域は16例すべて「国内」であった。

6. 年齢階級別・病型別報告数

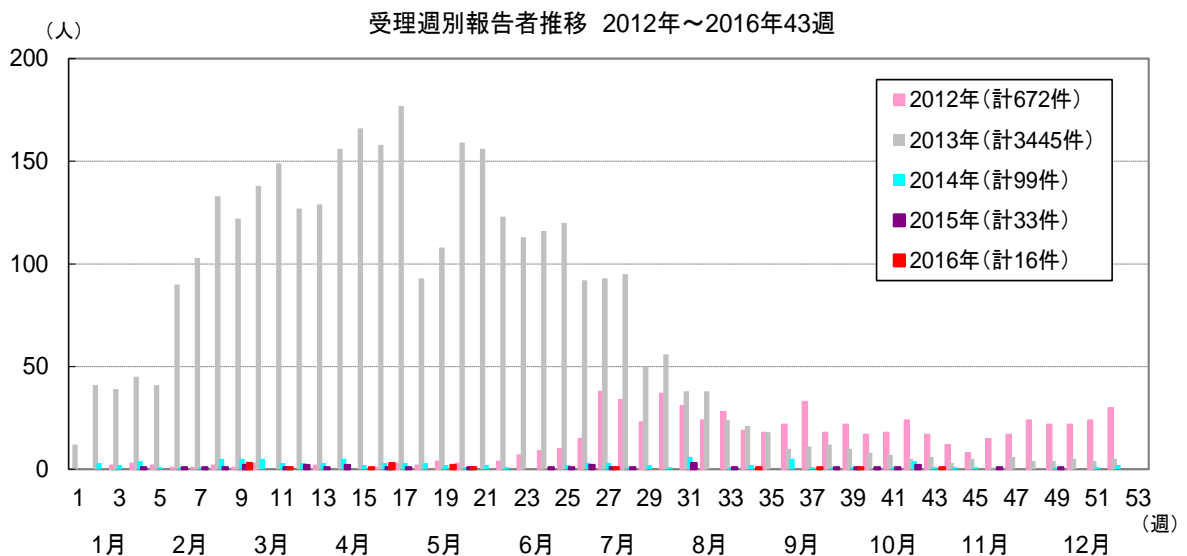
病型別でみると、検査診断例が10人、臨床診断例が6人と検査診断例の方が多かった。また年齢階級別・病型別でみると、1～4歳はすべて臨床診断例であった。



<参考>

1. 風しん患者報告数の推移 (2012年～2016年43週)

過去5年間でみると、大流行した2013年以降は毎年減少している。



2. 先天性風しん症候 (CRS) 患者報告数

昨年以降、全国的に CRS 患者の報告はない。